

リーフレット

特別支援教育マスター指標 連動型 研修プログラム

かがわ特別支援教育研修パッケージ

特別支援教育マスター指標連動型研修プログラム「かがわ特別支援教育研修パッケージ」は、本県の教員等人材育成指標を基にした研修プログラムとして、教員一人一人が教職経験のキャリアに応じて主体的に専門性を高めるために活用できるようにするとともに、管理職が研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に活用できるように開発したプログラムです。

校内外での特別支援教育に関する各種研修、研鑽のための自己研修等、多様な研修で活用してください。

令和 7 年 3 月
香川県教育委員会事務局
特 別 支 援 教 育 課

特別支援教育マスター指標 連動型 研修プログラム 「かがわ特別支援教育研修パッケージ」

① 教諭・養護教諭・栄養教諭

【令和7年3月】

教諭・養護教諭・栄養教諭の「特別支援教育マスター指標」

キャリアステージ 観点	基礎期 基本的な知識・技能習得 (目安：1～6年目)	発展期 自己研鑽意欲・専門性向上 (目安：7～20年目)	深化期 多様で豊富な経験の発信 (目安：21年目)
子供理解力 (観察やアセスメントに基づく実態把握)	障害による困難さについて、先輩教員の助言等を参考に理解する。	障害による困難さについて、多方面からの情報を収集しながら総合的に理解する。	障害による困難さについて、確かな理解力と経験を生かし、他の教員に適切に助言できる。
学習指導力 (指導目標、内容、方法の設定)	支援の在り方について基本的な知識や技能を身に付ける。	専門的な知識や技能を高めながら、集団の中での個に応じた支援ができる。	豊富な経験を生かしながら、適切な支援の在り方を他の教員に提案できる。
参画・協働力 (関係機関と連携しながら行動する力)	保護者や関係機関との連携の大切さを理解し、管理職や先輩教員と相談しながら連携を進める。	保護者や関係機関と積極的に連携するとともに、協働的な支援チームの一員としての役割を果たす。	保護者や関係機関と共に情報共有を図りながら、協働体制づくりにおいてリーダーシップを発揮する。

研修プログラム

□国立特別支援教育総合研究所 インターネットによる講義配信 「NISE 学びラボ」 ・講義スタイルで、体系的に学べるサイト 	○合理的配慮と基礎的環境整備 ○特別支援教育における教材教具の活用 ○通常の学級における個々の子供への指導や支援 ○LDのある子どもの理解と対応 ○ADHDのある子どもへの理解と対応 ○通常学級における自閉症スペクトラム障害(ASD)のある児童生徒の指導の対応 ○自立活動の指導 - 指導計画の作成 -	○インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(2) - 特別支援教育の理念と基本的な考え方 - ○インクルーシブ教育における交流及び共同学習 ○個別的教育支援計画と個別の指導計画②作成と活用 ○特別支援教育におけるカウンセリング法 ○障害のある児童生徒のキャリア教育 ○知的障害の理解と教育的対応の基本 ○知的障害教育における自立活動の基本	○インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(3) - 学習指導要領と教育課程 - ○発達障害のある子どもの通常の学級における支援 ○特別支援学校の地域におけるセンター的機能① - センター的機能の考え方と内容 - ○福祉・医療との連携 ○情緒障害教育概論 ○LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論 ○自閉症のある児童生徒の自立活動の指導
□県教育センターHP  ・演習スタイルで、体験的に学べるサイト	□オンライン研修サイト NEW! □オンライン研修サイト 「個別の指導計画作成」演習プログラム ①算数編 ②校外学習事前学習編 「特別支援教育支援員が活きる校内支援体制づくり」演習プログラム		
□国立特別支援教育総合研究所 ・(NISE)発行 特別支援教育リーフ 	□NISE Vol. 4 多様性の理解につながる「障害理解」 □NISE Vol. 5 このように考えよう、「合理的配慮」 □NISE Vol. 9 感情をコントロールすることが苦手な子どもの理解と支援	□NISE Vol. 2 障害のある子供も共に楽しむ体育の授業 □NISE Vol. 3 学習や生活を豊かにする ICT □NISE Vol. 7 みんなの思いをことばにしよう！つなげよう！ - 個別的教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用 -	□NISE Vol. 6 活用してみよう、「センター的機能」 □NISE Vol. 11 「交流及び共同学習」の授業づくり □NISE Vol. 14 キャリア・パスポートの作成と活用
主たる研修	初任者研修・教職1年経験者研修	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ	教職20年経験者研修

② 管理職（校長・副校長・教頭）

校長・副校長・教頭の「特別支援教育マスター指標」

観点 キャリアステージ	副校長・教頭 キャリアの充実	校長 キャリアの完成
マネジメント力 (学校経営力、人材育成力)	学校経営計画の重点項目を具現化し、 <u>特別支援教育の視点を取り入れた校内研修を推進し</u> 、評価と改善に導く具体的な指導ができる。 障害による困難さについて、 <u>確かな理解力と豊富な経験を生かし</u> 、 <u>就学も含めた適切な指導</u> ができる。 各種教育施策や制度を正しく理解し、学校経営において活用する。	学校経営計画の重点項目に <u>特別支援教育の視点を明示し</u> 、 <u>特別支援教育力の向上を目指した実践的な校内研修や校内委員会を運営する</u> 。
連携推進力 (保護者、関係機関との連携を推進する行動力)	校内委員会の有機的な運営を推進し、 <u>できうる環境整備や合理的配慮を提案するとともに</u> 、相談窓口として保護者や関係機関との連携を一層推進する。	保護者や特別支援学校、福祉機関等との <u>つながり</u> を密にした連携体制を構築し、校内外の支援体制強化の責務を果たす。
子供理解力 (観察やアセスメントに基づく実態把握)	多面的かつ適切な実態の把握と検査結果等の活用で、障害による困難さと教育的ニーズを把握し、支援の方向性等を助言できる。 <u>個別の指導計画の作成状況を確認し</u> 、適宜妥当性を <u>評価</u> できる。	

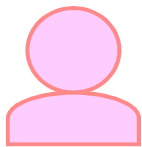
研修プログラム

☐ 国立特別支援教育総合研究所 インターネットによる講義 配信 「NISE 学びラボ」 ・講義スタイルで、 体系的に学べるサイト 	○インクルーシブ教育システムにおける専門性と研修 ○特別支援学校の地域におけるセンター的機能② - センター機能が有効に発揮されるために - ○合理的配慮と基礎的環境整備 ○多様な学びの場（２）小・中学校等② ○「通級による指導」の成立とその意義 ○教育と福祉・医療等との連携 ○通常の学級における個々の子供への指導や支援 ○自閉症のある児童生徒の家族支援	○特別支援教育におけるカウンセリング法 ○個別の支援計画と個別の指導計画① 学習指導上の位置付けと役割 ○特別支援教育の視点を生かした学校経営 ○小学校・中学校管理職のための特別支援学級における教育課程編成 ○特別支援教育コーディネーター - 役割と活動を中心に - ○小・中学校に在籍する健康面への配慮が必要な児童・生徒の理解
☐ 県教育センターHP  ・演習スタイルで、 体験的に学べる サイト	☐ オンライン研修サイト 「校内委員会運営」演習プログラム	
☐ 国立特別支援教育総合研究所 ・(NISE) 発行 特別支援教育リーフ 国立教育政策研究所 ・(NIER) 発行 生徒指導リーフ 	☐ NISE Vol. 1 ～23 例 ☐ NISE Vol. 10 人前で話すことが苦手な子供の理解と支援 ☐ NISE Vol. 12 急な予定の変更に対応することが苦手な子供の理解と支援 ☐ NISE Vol. 22 知的障害特別支援学校における教育課程編成と授業づくり ☐ NIER Leaf. 3S 発達障害と生徒指導～自尊感情への配慮～ ☐ NIER Leaf. 14S 不登校の予防～発達障害の特性と不登校リスク～ ☐ NIER Leaf. 15S 「中１ギャップ」の真実～発達障害の特性等に応じた小中のつながり～	
☐ 主たる研修	☐ 新任副校長・教頭研修	☐ 新任校長研修

全ての教員等のための研修等の機会の充実に向けて

キャリアステージに応じた研修プログラム活用例

例1 新任 小学校教頭A



教頭として身に付けておくべき資質能力は、何だろう

「特別支援教育マスター指標」(副校長・教頭)には、
マネジメント力...学校経営力、人材育成力と示されている。

マネジメント力

☞『NISE 学びラボ』

『合理的配慮と基礎的環境整備』をインターネットで視聴し、
通常の学級でできる支援や保護者との連携について学び、校内での環境整備や合理的配慮を提案し、共有しよう。

特別支援教育コーディネーターとして、協働体制を構築するために必要な
専門性(能力)は何だろう

「特別支援教育マスター指標」(深化期)には、
参画・協働力...関係機関と連携しながら行動力と示されている。

参画・協働力

☞『NISE 特別支援教育リーフ Vol. 6』

活用してみよう、「センター的機能」をサイトから閲覧し、
特別支援学校のセンター的機能の有効活用について学び、整理してみよう。

例2

小学校教諭B
特別支援教育
コーディネーター



例3 小学校教諭C (基礎期)



個別の指導計画の作成にあたり、指導目標や具体的手立ての設定の
仕方を知りたい

「特別支援教育マスター指標」(基礎期)に対応した研修プログラムに
オンデマンドコンテンツの

☞『「個別の指導計画作成」演習プログラム』

②校外学習事前学習編』の動画配信を受講し、
障害特性や困難さの理解力を深め、指導の手立てを考えよう。

子供理解力・
学習指導力

☞県教育センターHP

【演習スタイルで体験的に学べるサイト】

演習

ワーク 2 を用意してください。



校内委員会 進め方のポイント①
◇ ずばやく対応
◇ 組織的に対応



【校内委員会演習プログラム】より



【特別支援教育支援員が活きる校内支援体制づくり
演習プログラム】より

校内支援体制づくりや話し合いのポイント等について、ワークシートを活用しながら演習
形式で学ぶことができます。
(出演協力：香川大学生)